

(様式第4号)

審議会等附属機関 会議概要

1	審議会名	平成24年度(第3期)第1回上野が丘公民館運営審議会
2	日時	平成24年5月30日(水) 午前8時00分から正午まで
3	会場	伊那市伊那公民館 1階会議室
4	出席者	香山 裕会長、飯田正彦副会長、滝沢育子委員、宮下 啓一委員
5	市側出席者	坪田館長、小林指導員、生涯学習課職員外
6	公開・非公開等の別	市外視察研修のため非公開
7	傍聴者	0人、記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成24年6月1日

協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ(坪田館長・香山会長)
- 3 車中報告事項
 - (1) 平成23年度の公民館の利用状況に及び平成24年度事業について別紙資料により報告
 - (2) 豊殿児童ひろば、西部公民館、塩田公民館等の取組について発表、意見交換。神科、豊殿小学校の状況等を校長から説明
- 4 視察研修

子どもの居場所づくりとして試みた「夏休みおいで塾」の取組について、伊那公民館長武田登氏から説明いただく。

 - ・学校の教師から館長に着任してみて、子どもが集う公民館、中高年の男性が集う公民館にしたいと考えた。
 - ・中央自動車道の開通から、共働き・核家族の家庭が増えてきた。
 - ・夏休みなどに、子どもをみてほしいという声が上がっている。
 - ・地域で子どもをみることを公民館としてできないかと考えた。
 - ・夏休みの5日間を午前9時～午後4時まで、子どもを預かる「夏休みおいで塾」を企画した。
 - ・午前は自主活動、午後は体験的学習と位置づけ、通常の大人の公民館利用を排除して開始した。
 - ・当初は、市内4小学校の児童50～60人の予定が、申し込みが多く定員を120人にした。
 - ・指導者は知り合いの元教員や信大農学部 학생にボランティアで、また教育委員会職員にもお願いした。
 - ・昼食は手作りのおにぎり持参とし、水分補給は水筒のお茶とした。
 - ・保護者には説明会を行って決まりを周知してもらい、承諾書も提出してもらった。
 - ・夏休み帳などの宿題ができ、子ども達や親から大変好評であった。評判になり、その後は抽せんしなければならなくなった。
 - ・他の公民館や分館にも波及して広まってきた。安心・安全の地域づくりのためにも是非取り組まれて欲しい。 など

(委員) 料理時のけがや急病などについてどう対応したのか。
(武田館長) 家の人に電話を入れて迎えに来てもらう。保険は公民館で対応。
(委員) 班分けはどのようにするのか。
(武田館長) 学校や学年を一切考慮せずに班分けをした。
(委員) 抽選に漏れた子は翌年配慮するのか。
(武田館長) これまでは配慮していない。
- 5 閉 会

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。